

A. F.（現代こども学科・2 年次生）

I. 留学レポート

① 留学を目指した理由

私が留学を目指したきっかけは、海外の貧困問題に興味があったことと英語を話せるということに対して憧れがあったからです。高校生の時から英語のテストで点数が取れるようになったりして英語を勉強することが苦にならなくなりましたが、話すことは全くできなかったので英語を話せる人ってカッコいいなと思っていました。留学に対しての憧れもあったので高校生の時に短期の留学を考えましたが、部活の合宿と重なってしまい、行くことが出来ませんでした。そこからは大学生になってから行きたいなと、なんとなく心の中で思っていて今回、秋学期のセメスター語学留学に参加することに決めました。

② 留学決定から出発までの準備期間

留学を本格的に考え始めた時期は 1 年次生の冬（2 月）くらいからです。まずは国際課に行って資料を集めました。私は教職を履修しているので、免許資格課に行って免許についても確認しました。留学が決定してからは、英会話のハンドブックを用いながら現地に行っただけに使える英会話をインプットしていました。ビザの申請は比較的スムーズに行えました。

フィリピンは入国する際に新型コロナウイルスワクチンを 3 回接種済みの場合、PCR（Polymerase Chain Reaction）の検査結果証明書や隔離期間などはないので、留学に行くまでにワクチンの 3 回目を接種しようと思っていました。しかし、ギリギリになってしまい、予約が出来なかったため、市役所に行って事情を説明し、ワクチンを早く接種できるように手続きをしていただきました。渡航前にバタバタしないように、国にもよりますが、ワクチンの情報などは早めの段階から確認することをおすすめします。

③ 現地到着後

空港到着後すぐに SIM カードを買いに行きました。どこも勧誘がすごくて値段もとても安いように感じ怪しいなと思ったので、一回その場を離れて空港で働いている方にどこに行ったら SIM カードを買えるのか聞くと私が行ったところにしかないと言われました。怪しみながら買いましたが、6 か月間特に問題なく携帯を使うことが出来ました。

SIM カードを買った後に、学校の寮まで送ってくださる方と合流しました。空港からは、車に乗っていたら寮まで送ってくれるので楽ですが、合流するまでに少してこずりました。荷物を受けとった後、空港の建物を出るとタクシーがたくさん止まっている所に出るので、そこで自分の名前を書いてあるカードを持っている人を探します。そこにはお迎えに来て人々や、タクシーの運転手さんがたくさんいるので、見つけるのが大変でした。探してい

ると必ずタクシーの運転手が次々に話しかけてきます。しかし、そういったタクシーは不当に高い金額を払わされたりすることがあるので、無視した方がいいと思います。空港から寮までは通常 1 時間くらいですが、その日は渋滞していたのもあって 2 時間くらいかかりました。道もガタガタしていて酔いやすいので、乗り物酔いする方は酔い止めを飲むことをおすすめします。

④ 語学研修機関

a.施設・環境・スタッフ

入国日から授業開始日まで何日間か期間があったのですが、ちょうど雨季で、毎日雨が降っており、台風が来ていたということもあって寮から出ることが出来なかったのですが、学校が始まるまでに期間があったのは現地の生活に慣れるという点で良かったかなと思っています。

授業日初日は朝からオリエンテーションがありました。学校の詳細やルール、先生方の紹介など数時間オリエンテーションをした後、そのまま授業に入りました。モジュール（学期）にもよりますが、毎日午後の 4 時から 5 時くらいに終わります。寮から学校までは徒歩で 5 分くらいです。学校の敷地内に寮があるので通学はとても楽でした。学校の教室は小さめで生徒の数も少ないので、質問しやすい環境であり、先生のサポートも厚いです。学校の前にはテラスがあり、そこでお昼ご飯を食べることもできます。しかし、何事も連絡がすごく遅いので自分で頻繁に聞きに行った方がいいです。特に VISA 関係はお金も発生するので早めの段階から聞いておいた方がいいと思います。

クラス分けのテストがあると聞いており、実際にそのテストは受けましたが、生徒数が少なかったのでみんなと同じクラスになりました。テストはモジュールが始まる前と終わりにあります。どれくらい自分の英語が伸びたのか「マイモジュール数字」で見ることが出来ました。

b.授業内容、課題、試験

多岐にわたって自然災害や政治、文化、貧困など様々な分野の内容を学びました。最初のモジュールのみ授業で学びたい内容のアンケートがあり、私は貧困問題について学びたかったので自分の学びたいことを英語で学ぶことができたのはとても良かったです。

課題は毎日出るので夕方までの学校が終わった後に課題をしてから寝るようにしていました。平日は勉強漬けの毎日です。最初は辛かったのですが、今となれば、あの時頑張っただけ良かったと思っています。

⑤ クラブ・課外活動・ボランティア活動

クラブ活動などはできませんでしたが、学校が休みの期間に貧困ボランティアに参加しました。フィリピンは貧困問題がまだまだたくさんあるので、ネットで調べたらたくさん出

できます。そこから自分の興味があるボランティアに参加しました。日本では経験できないようなことを経験できて、参加して本当に良かったなと思っています。

II. 留学の感想

① 留学中楽しかったこと・思い出に残っていること

留学中に楽しかったことは、長期休みに行ったボラカイ島旅行です。フィリピンにはたくさん島があるので自分の行きたい島を見つけて、長期休みに行くことをおすすめします。私が行ったボラカイ島はフィリピンの中でも綺麗なビーチがあることで知られています。島の中で一番好きだったビーチは、ホワイトビーチです。その名の通り白いビーチです。海はとても透き通っていて綺麗です。ビーチにはいたるところに商売の人がいて中には「無料で写真撮るよー」と言って本当に写真だけ取ってくれる人もいます。いつも撮っているだけあって、たくさん綺麗な写真を撮っていただけました。ビーチの前にはお店がたくさん並んでいます。シェイク屋さんや、おしゃれなカフェ、バー、お土産屋さんなどいろいろなお店があるので歩いて回るだけでも楽しめます。なによりもゆったりとした雰囲気や優しくフレンドリーな人たちが私の中で大好きなところでした。

② 留学中辛かったこと・苦労したこと

留学中で辛かったことは、やっぱり言語の壁です。私は元々英語が得意ではないので、最初は中々自分の思っていることを英語で伝えることができなくて辛かったです。現地の人たちの喋るスピードの速さや発音の綺麗さに毎日圧倒されて、自己肯定感が下がる毎日でした。途中からは、「人は人」と割り切ることで、気持ちが軽くなり自分のスピードで頑張ることが出来ました。これは私の中で大切にしていた考え方で、これから留学に行く人にも伝えたいです。留学先で周りの人よりも英語が喋れなくて自信を無くしそうな人は、「人は人」と割り切って考えてみてください。気が軽くなるはずです。また、学校の時間が長いことと、ほぼ週5であったことも辛かったです。

夕方に学校が終わるのに毎日課題が出て、それもパワーポイントを用いた発表の準備だったので負担が大きかったです。当時はもうこれ以上英語の勉強をしたくないとまで思っていました。今思えばあの時に頑張っていた良かったなと思っています。生徒の数が少ないからこそその課題の量であったり授業の負担がありましたが、人数が少ないからこそ先生との距離が近くて質問しやすい環境であったり、一人一人のサポートが手厚かったです。

③ 文化・習慣の違いなどで驚いたこと

文化の違いとしてまずは「フィリピンノタイム」が挙げられます。日本では約束の5分くらい前には集合場所に到着することは普通であり、遅刻すると謝ることが普通だと思います。しかし、フィリピンでは違います。フィリピンノタイムという言葉が存在している通り、フィ

リピンの人は時間にとってもルーズです。集合時間になってもいないことは普通で、何十分と待たされます。今まで集合時間通りに来た人はいないと言っても過言ではありません。それくらいみんな時間にルーズですが、その分他人の遅刻にも優しいです。誰かが遅刻してきても大丈夫だよ！という感じでした。日本人留学生の中には、フィリピンタイムに染まってしまっている子もいましたが、私はなるべく集合時間には行くようにしていました。

また、フィリピンのトイレはあまり綺麗ではないのと、トイレットペーパーを流せないの
で外出先でのトイレ使用は少しストレスでした。日本のトイレに慣れてしまっている
ので、便座がびしょびしょだったり、トイレットペーパーがなかったり、流せないのは結構不便
でした。しかし、綺麗なショッピングモールなどは、日本のトイレとあまり変わらないくらい
綺麗でした。

さらに習慣の違いで驚いたことは、フィリピンはシャワーの後、髪の毛がびしょびしょの
ままお出かけに行くということです。最初はなんであの人髪の毛がびしょびしょなんだろう
と思っていたら、別の日に違う人が髪の毛がびしょびしょで歩いていたので、シャワーの後に
髪の毛を乾かす習慣があまりないのかなと思いました。

Ⅲ. 留学希望者へのアドバイス

① 日本から持って行って役に立ったもの

パソコンとムヒ（痒み止め）です。授業はパソコンを用いて行われるのでパソコンは必須
です。また、フィリピンは虫が多くて、よく虫に刺されるのでかゆみ止めも持って行った方
がいいと思います。私は元々虫に刺されやすい体質なので、フィリピンでもたくさんかまれ
て辛い思いをしました。日本のかゆみ止めが効かなくて、フィリピンの物も使いましたが、
日本の物が安心だと思うので日本から薬を持っていくことをおすすめします。また、上着も
持って行って良かったなと思います。教室やショッピングモール内など、建物の中は冷房が
効き過ぎていて、半袖だけでは寒かったです。毎日学校に行く時と、どこか建物内にお出か
けに行くときは必ず上着を持って行っていました。

② 語学力の向上・留学の成果・留学前と後で変わったこと

授業の時間が長かったり、日数も他の国に比べて多かったりと勉強漬けの毎日で辛いな
と思うこともあると思いますが、この環境だったからこそ英語力は確実に伸びたなと感じ
ています。留学に行く前は、英語を聞き取ることもしゃべることもあまりできませんでした
が、今はある程度聞き取ることもしゃべることもできます。聞き取ることができなくても、
聞き返すことができるようになったので 2 回目か 3 回目で理解することが出来ます。留学
から帰ってきても YouTube で英語のポッドキャストや、Vlog を聞いたりしています。英語
の字幕をつけなくても理解できるようになったのはこの留学を通じての一番の成果だと感
じています。留学前は英語の動画を字幕なしで見ると理解できないので最後まで見るこ

もなかったし、動画を見ること事体続きしませんでした。今は英語の動画をテレビ感覚で流すくらい英語が身近な存在になりました。しかし、まだまだ成長過程ですので、これからも勉強を続けていきたいなと思っています。

③ これから留学をしようと思っている後輩へのアドバイス

留学に行く前は、何から始めたらいいのか分からないことだらけだと思います。まずは国際課に行って、資料を集めたり、自分自身でインターネットを使って調べてみたりすると思います。それでも分からないことは、国際課に行って聞くことをおすすめします。国際課の方が真摯に相談に乗ってください。

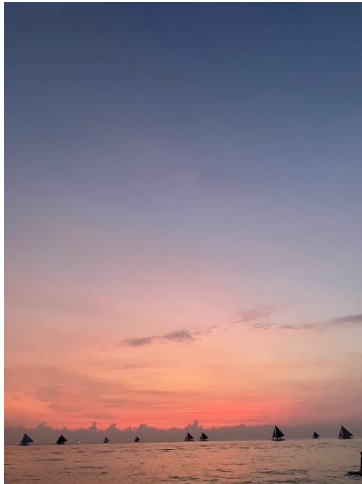
私は教職課程を取っていたので、免許資格課などにも行って、これからのことを確認してから留学に行くことを決めました。教職課程を取っていて留学を考えている人は、免許資格課にも行って資格についても確認しておくことをおすすめします。

憧れの留学生活は正直、楽しいと辛いが半々くらいです。でも、留学を乗り切ったからこそ強くなったなと感じるし、英語面だけではなく自分自身の成長にも繋がると思います。留学に行くことは間違いなく人生の中で貴重な経験になると思うので、迷っているなら行くべきだと思います！

IV. 将来の目標

特に将来の夢などは決まっていません。英語を使う仕事に就くかもまだ決めていないので本当になにも決めていませんが、これから自分のしたい仕事を見つけていきたいなと思っています。留学に行く前は海外の日本語教師になりたいと思っていましたが、実際に留学に行ってみると、なんか違うなと感じたので、自分の将来を考えるという点でも留学に行ってみて良かったなと思います。留学中、毎日ずっと英語に触れる楽しさや辛さを実感しました。その時に、これからもずっと英語を仕事として毎日使うのは少ししんどいなと私は感じてしまいました。英語をずっと使うよりはたまに英語を使うくらいが私にとってベストだと考えました。これから自分にとって最善の道を見つけていきたいです。

V. 写真



←ボラカイ島ホワイトビーチ

留学中に楽しかったことでも書きましたが、これはボラカイ島のホワイトビーチの夕日です。お昼は海が透き通っていてももちろん綺麗ですが、夕方はまた違う綺麗さがあります。私は特に夕日に心を打たれたので、この写真を選びました。

お金を払えば、ヨットに乗って夕日を見に行くことができます。



←アテネオ・デ・マニラ大学のバスケットボール部の試合観戦

アテネオ大学はバスケットボール部が有名なので割と頻繁に試合があります。チケットを購入すれば見に行くことができます。私はバスケットボールにあまり詳しくないのですが、迫力がすごくて終始楽しむことが出来ました。なかなか経験できないことだったので、とても印象に残っています。

M. N.（英語英文学科・2 年次生）

I. 留学レポート

① 留学を目指した理由

私は大学生のうちに留学するという目標を持っていました。英語英文学科に入学して、英語に触れる機会はたくさんありましたが、留学で語学、文化、社会など自分の視野を広げたいと思い、セメスター語学留学に応募しました。

② 留学決定から出発までの準備期間

留学に行く前までに reading や文法などを復習し、英語でのコミュニケーションに少しでも早く慣れるようオンライン英会話をしていました。また、フィリピンの食べ物、文化、観光地なども少し調べておきました。新型コロナワクチンの接種証明書、航空券の予約、薬や日用品の買い出しなど準備がたくさんありました。

③ 現地到着後

空港で SIM カードを買い、アテネオ大学が配車してくれた車に乗り寮まで向かいました。すぐにお金が必要なこともあるので日本の空港であらかじめ少し換金しておくことをおすすめします。また、空港のすぐそばにあるタクシー乗り場はとても人が多かったのでタクシーを探すのに時間がかかりました。寮に到着後は語学学校のスタッフさんがメールで色々指示をしてくれて VISA などの申請をしました。

④ 語学研修機関

a. 施設・環境・スタッフ

大学のキャンパスはとても広いです。語学学校は寮の近くにあり、とても便利でした。先生たちは皆優しくフレンドリーで、授業外でもパーティーやアクティビティも企画してくれました。また、先生によっては語学学校にある小さい庭で授業が行われ、少し暑かったですが毎日楽しく授業を受けることが出来ました。

b. 授業内容、課題、試験

基本的に週 4 の授業ですが、台風や祝日で授業の振替なども多かったため平日はほとんど授業がありました。ALLC（語学学校）のクラスメイトは少なかったのですが、アテネオ生との交流や他の学校の人たちとのグループワークなどもあり英語を話す機会がたくさんありました。課題はプレゼンが特别多く、各モジュールの最後の週は課題に追われていました。先生は毎回一人一人に的確なアドバイスをくれるので、モジュールの最初と最後では

プレゼンスキルがとても上がりました。また、1 か月ごとにテストもあるので自分の英語の伸びを知ることができました。

⑤ クラブ・課外活動・ボランティア活動

クラブには参加しませんでした。アテネオ生がクラブやクラスのパーティーやイベントに招待してくれて何度か参加しました。

⑥ 現地での住まいについて

アテネオ大学のキャンパスに入るには学生証の提示を求められ、警備員がたくさんいるためセキュリティがしっかりしていて安心でした。寮は現地生、留学生などたくさんの人が住んでいてダイニングで勉強したり、ご飯を食べたり、とても賑やかです。アテネオ生と寮で仲良くなり、一緒に勉強したりご飯を食べたりしました。部屋は 2 人部屋で私の部屋はとても広かったのですが、部屋によって広さが違います。毎週掃除をしてくれ、各階にはウォーターサーバーがあるので便利です。また寮のスタッフが 24 時間ロビーにいるので何か問題があればすぐに相談することが出来ます。私は食堂、外食、日本から持ってきたインスタントフードで食事をしていましたが、キッチンもあり自炊をしている友達もいました。洗濯はスタッフに任せることも自分ですることもできますが、毎日混んでいました。

⑦ 長期休暇の過ごし方

クリスマス休暇の 1 カ月は友達とボラカイ、セブ島に 1 週間旅行に行きました。その後日本に一時帰国しました。

II. 留学の感想

① 留学中で楽しかったこと、最も思い出に残っていること

友達と色んな観光地に連れて行ってもらったり、一緒にスポーツ観戦もしたり、とても楽しかったのですが、フィリピンには日本語を勉強している友達がたくさんおり、お互い英語、日本語を教え合ったことは私にとって、とても印象に残っています。その会話を通してとても仲良くなった友達もいて、フィリピンに留学して良かったと思える体験です。

② 留学中でつらかったこと、最も苦労したこと

食堂も、外食でもあまり野菜が無く、お肉やご飯メインの食事でした。また、水や油などでお腹を壊すことが何度かあったので胃腸が弱い人は薬を持って行ったり、ストリートフードは控えたりする方がいいかもしれません。また、野良犬や鶏などがあらゆる場所にいるため私は少し怖かったです。

③ 文化・習慣の違いなどで驚いたこと

日本は時間に厳しいイメージがありますが、フィリピン人は何でもアバウトな感じがしました。VISA の更新遅れや、交通ルールが曖昧なところは少し困りましたがフィリピンの人々はとても陽気で優しいです。困っていると声を掛けてくれ、知らない人であっても親身になってくれる彼らの国民性はとてもいいと思いました。

Ⅲ. 留学希望者へのアドバイス

① 日本から持って行って、特に役に立ったもの

パソコン（授業、課題全てパソコンを使いました）、虫よけスプレー、日本食、薬（酔い止めを含む）、エコバック

② 語学力の向上等、留学の成果、留学前と後で変わったこと

語学力は留学から帰ってからの授業や英会話を通して向上したと実感しました。特に毎日の授業、そして友達との会話を通して英語を話す力が付きました。また語学の成果以外にも主体性が向上したと思います。クラスで積極的に発表して意見を出す機会があり、自ら進んで取り組むことに対しての戸惑いがとても減りました。異文化への理解は勿論、物事を様々な方向から見ることの大切さを身を持って体験できました。

③ これから留学をしようと思っている後輩へのアドバイス

半年間海外で暮らすことは楽しいことではなかったですが、留学を通して、語学力だけではなく異文化交流や他者からの刺激で自分自身を成長させることができます。留学生生活を振り返ると何事にも積極的に取り組み、疑問に思ったことは放っておかないことが大切だと思いました。

Ⅳ. 将来の目標

① 今後の進路、将来の目標・夢

今後も英語の勉強を続け TOEIC の目標点数に達すること、留学で得た自分の強みを就職で生かすことが私の現在の目標です。

V. 写真



各モジュールの最後の日に成績表と修了証を貰い、その時の写真です。この後に先生たちが小さいパーティーを開いてくれてご飯を食べたり、お話をしたりして楽しめます。



この写真はみんなでハイキングに行った時です。とても大変でしたが、みんなで楽しくお喋りして、景色を見ながら登るのはとても楽しかったです。